

単元名：

「私をみつけて？」

(全2時間扱い中 第2時)

授業日時 令和3年11月9日(火) 第3校時

授業学級 5年2組

授業会場 5年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

「石」を何かに見立てる活動を体験した子どもたちが、見立てたものを撮影し、互いの作品を鑑賞し合う場面で、見立てたものが本来あると予想できる場所で工夫して写真を撮る活動を通して、背景に溶け込ますためには構図を工夫する必要があることや友人の作品から表現することの面白さに気づき、自分の見方や感じ方の表現を広げることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 活動の説明	「俺は、おにぎりといちごを作ったー」 「すごい、全然ちがう!」「 「ライオンの見え方が違う」 「遠くからの方がライオンぽい」	・前時の振り返り ・写真を撮る時の説明(異なる構図で撮った写真を複数枚紹介) ・それぞれの写真の印象を聞く (撮り方によって受ける印象が大きく変わることを説明) ・(背景は自分で作っても良い)	5分
	【学習問題】見立てたものを背景に溶け込ませて写真を撮ろう!			
	【学習課題】見立てたものが本来あると予想できる場所で工夫して写真を撮る			
展開	2. 各自写真撮影	「鉛筆だから持ってるみたいにした」 「ハンバーグのお皿を作る」 「恐竜だから外に撮りにいこうかな」	・個人的に話しかけて工夫点を聞く ・何枚かにとって、その中から選ばせる ・終わった人には印象が変わる取り方を試してもらう ・具体的に声がけをする	20分
	3. ジャムボードに写真を貼る	「最初に写真を撮る角度を間違えた」 「全然違うものになった」 「わーすごい、本物みたいに見える、食べたい」	・撮影が終わった人から、前回撮った写真と合わせて2枚ジャムボードに提出してもらう	5分
	4. 互いの作品(写真)を鑑賞する	「どこが口になってるの?」 「同じものでも全然違うじゃん」	・自由に友達の作品をみてもらいその後、数名に(石を何に見立ててどこで写真を撮ったか、工夫ポイントなど)発表してもらう(ジャムボード) ※全体で共有する時は前を向いてもらう ・作った石は持ち帰ってもらう	10分
終末	5. 振り返りシートに記入する	「みんなの作品すごい」 「芸術を感じた」 「本物みたいなやつが面白い」	・ワークシートに記入してもらう ・今回の活動のまとめ、印象的だった素敵なエピソードの紹介	5分

【評価(対象)】背景に溶け込ますためには構図を工夫する必要があることや友人の作品から表現することの面白さに気づき、自分の見方や感じ方の表現を広げることができる。(振り返りシート)